

排水ポンプ保守点検業務仕様書

本仕様書は、町営住宅の業務及び管理の実施基準の排水ポンプ保守点検業務に使用するものとする。

1 提出書類

事業者は、本業務について、次の関係書類を、作業月の翌月に提出する「実績報告書」で報告すること。

- (1) 業務責任者選任届
- (2) 業務責任者が、当該業務を実施するために法令等で定められた資格が必要な場合は、それを証する書類
- (3) 業務工程表
- (4) 業務完了報告書
- (5) 業務についての作業状況がわかる写真

2 該当施設

- (1) ○○団地（雨水槽、エレベータピット、ごみ置き場設置の排水ポンプ）

3 業務責任者

- (1) 事業者は、業務開始前に本業務を確実に履行できる業務責任者を選任すること。
- (2) 業務責任者は、当該業務に精通した者とし、法令等で業務を実施するための資格が定められている場合は、当該資格を有する者でなければならない。
- (3) 業務責任者は、作業工程表を作成すること。
- (4) 業務責任者は、作業中現場に常駐し、技術上及び安全上の管理等行わなければならない。

4 業務内容

- (1) 排水ポンプが常に正常運転するよう点検を実施すること。
- (2) 1年に1回実施するものとし、実施時期については町と協議すること。なお、受水槽設置の排水ポンプについては、別紙6-1 給水施設保守点検業務において実施すること。
- (3) 点検表に基づき、運転状況、ピット内状況等に関する点検、調整、動作確認及びその他必要な作業を行うこと。
- (4) 汚泥等の廃棄については、必要に応じて、産業廃棄物管理票での管理を行うなど、法令等に基づき適切に処分を行うこと。
- (5) 入居者等から故障、浸水などの連絡を受けた場合は、点検、確認及び検査など、迅速かつ適切な対

応を行うこと。なお、当該費用については、本業務費用に含めること。

(6) 機器の不具合等を発見した場合は、速やかに修繕を行うこと。なお、修繕にかかる費用は一般修繕として事業者の負担とする。

(7) 業務に関わる機器、備品、消耗品、通信費等の費用全般は、全て事業者の負担とする。

5 安全対策

(1) 作業にあたっては、関係法令等を遵守し、安全に実施すること。

(2) 既存施設等に損害を与えた場合は、事業者の責任において原状回復を図り、速やかに町へ報告すること。

(3) 車両の搬入については、事故が発生しないよう十分注意すること。

6 その他

(1) 必要に応じて、事前に入居者等に周知すること。なお、エレベータを停止する必要がある場合は、事前に十分な時間をとり入居者に周知すること。

(2) 作業中に異常事態が発生した場合は、直ちに作業を中止し、安全対策を施すとともに、速やかに町に報告すること。

(3) 不明点については、町と協議をして決定をすること。